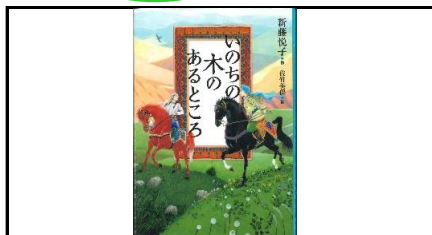


中学生
高校生

図書館員がおすすめる本



★発行：志布志市立図書館
★お問い合わせ先：099-472-3322



「いのちの木のあるところ」
820911097

福音館書店
新藤 悦子/作 佐竹 美保/絵

主人公ウーラーンの率直さと芯を持った自由さ、その生き方。フツレムシャとの出会いから結婚、その後の2人の生き方に清々しさを感じます。登場する人物たちが、全てに生き生きとしていて、画面を通して観てみたいと思うほどの物語です。



「マイブラザー」
820901312

ポプラ社
草野 たき/著

イクメン中学生の海斗、それには理由がある。ある日突然父親が会社を辞めてパン屋修行に出たのだ。その事で中学受験をあきらめ、5歳の弟の世話をすることになった。弟のように素直に自分の心が出せたらいい。海斗と周りの友達や家族を考えながら、不安を勇気に変えて未来を見つけて歩き出す物語。ガンバレ！と応援したくなるお話です。



「JK、インドで常識ぶっ壊される」
811534585

河出書房新社
熊谷 はるか/著

花のJK(女子高生)ライフを夢見ていた女の子が、いきなりインドで暮らすことに・・・！インドって「カレー」の国だね。そんなイメージしか持っていなかった彼女が、インドで経験し、受けた衝撃の記録にあなたも驚くはず。10代の力強く、柔軟で楽しい文章がインドを違った目で見せてくれます。



「願いながら、祈りながら」
811322593

徳間書店
乾 ルカ/著

北の大地の片隅に、ぼつんと残る中学校の分校。一年生4人と三年生1人のたった5人で編成された学校にいる生徒たちの心を描いた物語です。嘘つきと言われる少年、霊感があるという少女、やる気ゼロの教師・・・。小さい学校ならではの悩みや違い、つまづきに直面しながら彼らは前に進み続けます。



「西の魔女が死んだ」
810537506

新潮社
梨木 香歩/著

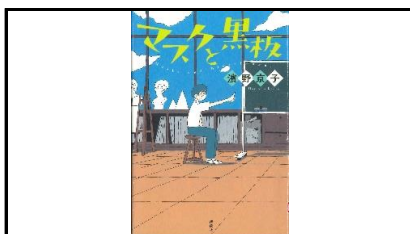
中学生のまいは、クラスになじめず学校を休んでいた。イギリス人である祖母と二人での生活が始まり、自然豊かでスローライフな暮らしにいやされるまい。しばらくして、祖母の家系が魔女であることを知る。



「ほくにだけ見えるジェシカ」
820852036

徳間書店
アンドリュース・ノリス/作 橋本 恵/訳

ファッションに興味を持ち、孤立している男子生徒のフランシス。ある日、自分しか視えない幽霊のジェシカと出会います。幽霊の少女と過ごす中で、心や生活が変化していく少年少女のお話です。



「マスクと黒板」
820909091

講談社
濱野 京子/作

中学校でもコロナ禍の生活は、マスクをつけてソーシャルディスタンス。学校行事も思うように開催できない。日本中の生徒が経験した。中学生の輝く黒板アートがみんなに元気をあたえていく。このコロナ禍だからこそ自分に置き換えて読んで欲しい本です。



「恋愛問題は止まらない」
820910008

小学館
吉野 万理子/作

「野球部員は来週までに髪を丸刈りにしろ！」と監督が指令を出したという、うわさが流れた。理由は、恋愛がらみらしい。そんな・・・！あの憧れのカレが丸刈りなんて！
多くの登場人物の目線で書かれていて、いろんな角度で読める。あなたはこの中の誰と共通する所がある？



「きみだからさびしい」
811538875

文藝春秋
大前 粟生/著

主人公の圭吾は京都のホテルマン。恋愛や職場でのコミュニケーションの距離感が支配されつつも1人の女性と出会うことで、圭吾の人生が動き始めます。複数のパートナーと親密な関係を持つ「ポリアモリー」に理解を持ちつつ悩みと葛藤する姿がピュアな恋愛小説です。



「ワカレ花」
811542802

双葉社
けんご/著

春夏秋冬の恋模様を描いた物語が全8編。それぞれの物語を読み進めていくと2つのストーリーに繋がっていきます。1ページの文字数が多くないので、本を読むのが苦手な人や、少しずつ読みたい人、久しぶりに読む方にもおすすめの1冊です。